
クリスマスイブ

あおりん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クリスマススイブ

【Nコード】

N2374B

【作者名】

あおりん

【あらすじ】

2人の切ない恋物語です。皆さん、ぜひ読んでください。感動するかわかりませんが…。

オレの名前は勇氣。

ごく平凡な男です、年齢は18歳…。

でも、ごく平凡なオレも彼女が居るんだ!!!

彼女の名前は優香里なんだ。

オレ達は中学1年から付き合ってる大の仲良しカップルなんだぜ!!!

だけど、優香里は心臓が悪く…走ったりしたら死ぬ危険があるらしい。

まあ、紹介はここまで!!!

12月23日、アルバイトから帰っている途中に携帯が鳴る…『プルプル』優香里からだった。

急いで電話に出た。

勇氣『もしもし。』

優香里『あっ、勇氣…!!!突然ですが、明日は何の日でしょう???』

優香里はとても嬉しそうな声をしていた!!!

オレは答えた。

勇氣『クリスマスイブ…??』

優香里『正解ッ!!!さすが、ウチの勇氣じゃね!!!』

ちょっと照れたオレ…。

勇氣『明日は、一緒にデートするって約束してたもんな。』

優香里『うんッ!!!明日は大事な日なんだよ!!!もう、寝るね。おやすみなさい。明日は風邪ひくなよ。』勇氣『ひくわけねーよ!!!おやすみ。』

オレは家に帰った…。

明日は午後7時に待ち合わせだから、ずっと寝てよ。

次の日、午後6時にプレゼント【指輪】を持ち出発した。

午後6時50分に待ち合わせ場所に到着。

周りを見たら、雪が凄く積もっていた：それに寒すぎて鼻水が垂れそうだった。

午後7時10分になっても優香里は来なかった。

勇気『バカだから、道に迷ってんのかもな。電話してやるか！！』

オレは優香里に電話した：留守電だった。

携帯置いて来たのかな…。

8時になっても優香里は来なかった。

オレは心配になった。

オレは優香里の家まで走った…。

そして、優香里の家に行く途中に誰か道に倒れていた。この道はあまり人が通らない…。

オレはもしかしてと思い、倒れている人を抱きかかえた。

倒れている人は優香里だった…。

もう、息はしてなかった。

勇気『優香里：なんでバスで来なかったんだよ…。心臓が悪いだら…。』

オレは泣き崩れた…。

優香里のポケットに手紙が入っていた…。

内容は：『勇気、浮気してないでしょうね???ウチはアンタ一筋なんだからね!!!ウチは勇気と会えたのが一番幸せだよ。これから、バカっぱルで居ようね。』オレは涙が止まらなかった…。

オレも優香里に会えて一番幸せだよ。

ありがとな…。

最後にゴメン：優香里を守れなくて…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2374b/>

クリスマスイブ

2011年1月29日02時48分発行